

授業科目名	スポーツ社会学特殊研究		授業形態	講義	授業科目区分	専門科目 (スポーツ文化・社会科学)
担当教員名	川西 正志				補助担当者名	
単位数	2 単位		履修年次	1	受け入れ人数	5
授業の概要 及び達成目標	生涯スポーツ科学分野での運動・スポーツの現状と課題について、社会科学的アプローチから社会学的・歴史学的現象の解明と研究方法を考究することを目的とする。スポーツと個人・社会・文化の関係を、これまでの社会学・歴史学・文化学的研究動向から概観し、これまでの理論的立場から、諸現象について、より高度な研究視点より、記述、説明、分析する研究能力の習得を目指す。特に、国際研究の視点より日本社会におけるスポーツ社会学研究の独自性について比較考察するとともに、そこでの研究方法論について学ぶ。					
成績評価の方法	□学期末試験の成績（％） ■ 出席状況（10％） ■ 授業への取り組み状況（10％） ■ レポート等の提出状況（80％） を総合的に評価する。					
成績評価の基準	レポート提出及び授業への取り組みを重視する。					
テキスト、教材 参 考 書	池田勝、守能信次、川西正志他著 「講座スポーツの社会科学シリーズ - スポーツ社会学」杏林書院。 川西正志、野川春夫編著「生涯スポーツ実践論」市村出版。 川西正志、野川春夫編著「ヨーロッパのスポーツクラブ」市村出版。 授業時配布の資料					
履修条件・ 関連科目			備考(教員メッ セージ含む)			
オフィス・アワー	川西：（研究棟6階 607研究室） 要予約					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	川西 正志	スポーツ社会学の定義と社会的機能				
2	〃	社会学的研究法 ― 問題意識と理論的枠組み、ケーススタディーと社会調査				
3	〃	スポーツへの社会化論と遊びの社会文化研究				
4	〃	少子高齢化社会とスポーツ ― 高齢者と青少年スポーツの研究				
5	〃	グローバリゼーションとローカリゼーション ― スポーツ文化と地域社会変容				
6	〃	スポーツの国際比較 ― 欧米のスポーツ政策とキャンペーン活動				
7	〃	スポーツの国際比較 ― 欧米のクラブ・コミュニティ				
8	〃	スポーツの社会経済的效果研究				
9	〃	スポーツ社会学と社会科学的認識				
10	〃	スポーツ社会学における科学的概念の問題				
11	〃	スポーツ社会学における「行為」の概念				
12	〃	大衆社会状況とスポーツの価値規範				
13	〃	法的・政治的側面から見たスポーツの国際比較				
14	〃	スポーツ社会学における課題とその展望				
15	〃	まとめ、評価				